

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
臨床栄養学 I	2年次	必修	講義	2単位（30時間）	大友 崇 ※
授 業 概 要					
<p>臨床栄養学の理論を習得するための基礎教育科目である。</p> <p>栄養素の補給手段である栄養法について（経口栄養・経腸栄養・静脈栄養）学ぶ。</p> <p>代表的な代謝・内分泌疾患である肥満、糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症、甲状腺機能亢進・低下の病態生理や栄養状態の特徴に基づいた適切な栄養管理の基本を学ぶ。</p>					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・医療における臨床栄養の意義を述べることができる。 ・栄養補給法の目的、種類、手法について説明ができる。 ・各疾患の栄養生理及び栄養食事療法について説明できる。 					
実務経験のある教員					
大友 崇：病院での臨床経験に触れながら、臨床栄養学で学んだ内容を臓器別、疾患別にまとめていく。					
回	学 習 内 容				担当教員
1	メタボリックシンドロームと生活習慣病				大友 崇 ※
2	肥満症				
3	高血圧症				
4	脂質異常症①（病態生理）				
5	脂質異常症②（栄養食事療法・薬物療法）				
6	高尿酸血症と痛風				
7	糖尿病①（1型, 2型糖尿病）				
8	糖尿病②（妊娠糖尿病・薬物療法）				
9	糖尿病（食事療法①）				
10	糖尿病（食事療法②）				
11	栄養投与ルート（経口栄養）				
12	摂食・嚥下機能の評価				
13	栄養投与ルート（経管栄養）				
14	栄養投与ルート（経静脈栄養）				
15	まとめ				
学 習 方 法					
<p>教科書で予習をし、わからない単語など事前に調べておくこと。</p> <p>月曜テストに対しては事前の学習は勿論のこと、実施後においても再度学習し確実な知識を習得すること。</p> <p>疑問点は進んで自ら調べ、教科担当に確認し正しい知識としておくこと。</p>					
評 価 方 法					
<p>〔評価方法〕</p> <p>科目修了試験80%、月曜試験20%で総合評価する。</p>					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
<p>〔教科書〕</p> <p>第4版 最新臨床栄養学 栄養治療の基礎と実際，上原誉志男他編，株式会社光生館</p> <p>臨床栄養教育 トレーニングテキスト，症例から学ぶ栄養ケア，本田佳子編，医歯薬出版株式会社</p> <p>糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版，日本糖尿病学会編，日本糖尿病協会・文光堂</p> <p>日本糖尿病協会 編・著 2023-2024 糖尿病治療ガイド</p>					